

2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年11月13日



株式会社リクルートホールディングス

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

















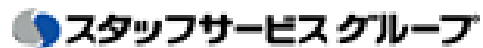


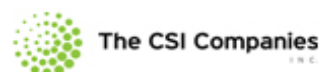


また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。

1. <u>グループ概要について</u>	
2. <u>2015年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト</u>	
I. 連結業績サマリ	P.18
II. セグメント別売上高/EBITDA	P.19
3. <u>2015年3月期 第2四半期 セグメント情報</u>	
I. 販促メディア事業の業績	P.22
II. 人材メディア事業の業績	P.26
III. 人材派遣事業の業績	P.30
 <u>Appendix</u>	
連結損益計算書	P.35
セグメント別業績	P.36
連結貸借対照表	P.37
連結キャッシュ・フロー計算書	P.39
市場環境	P.40

1. グループ概要について

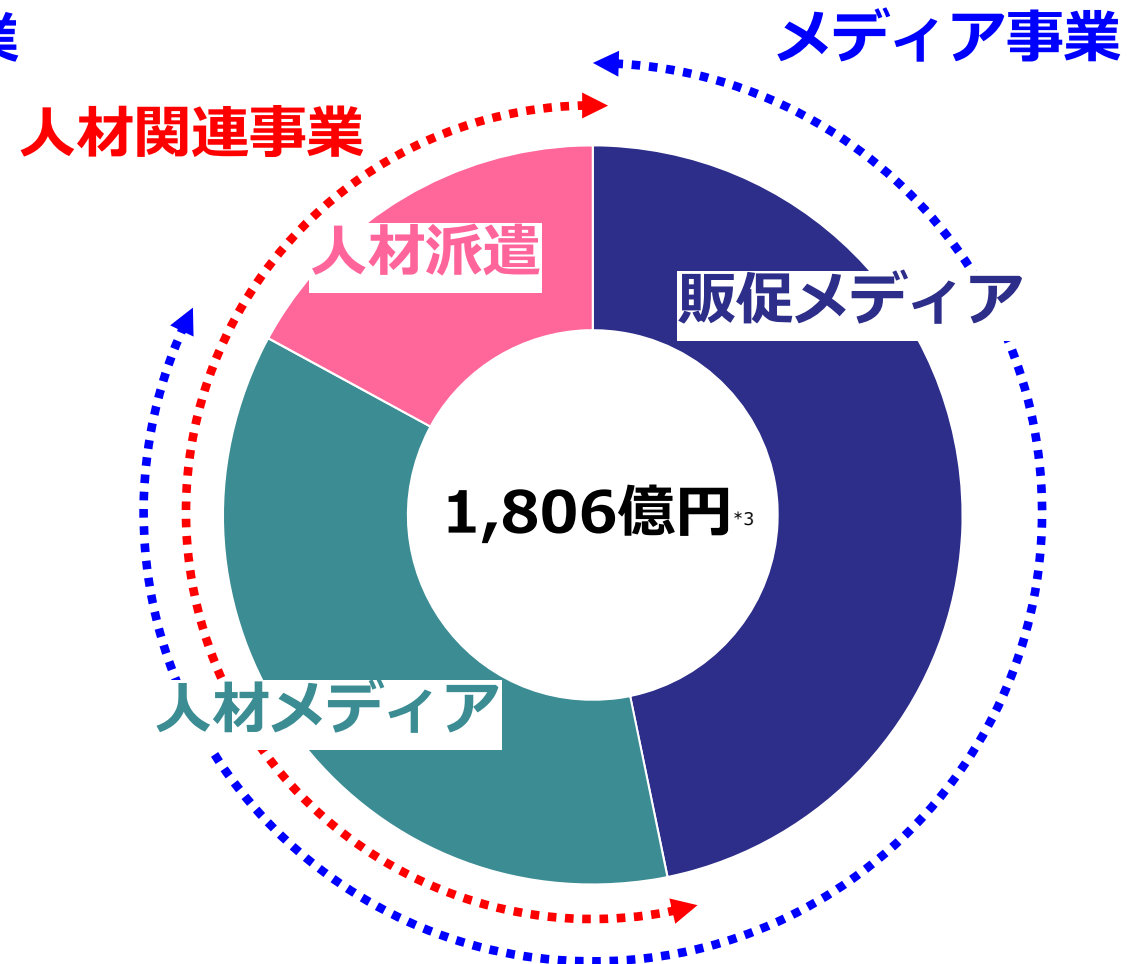
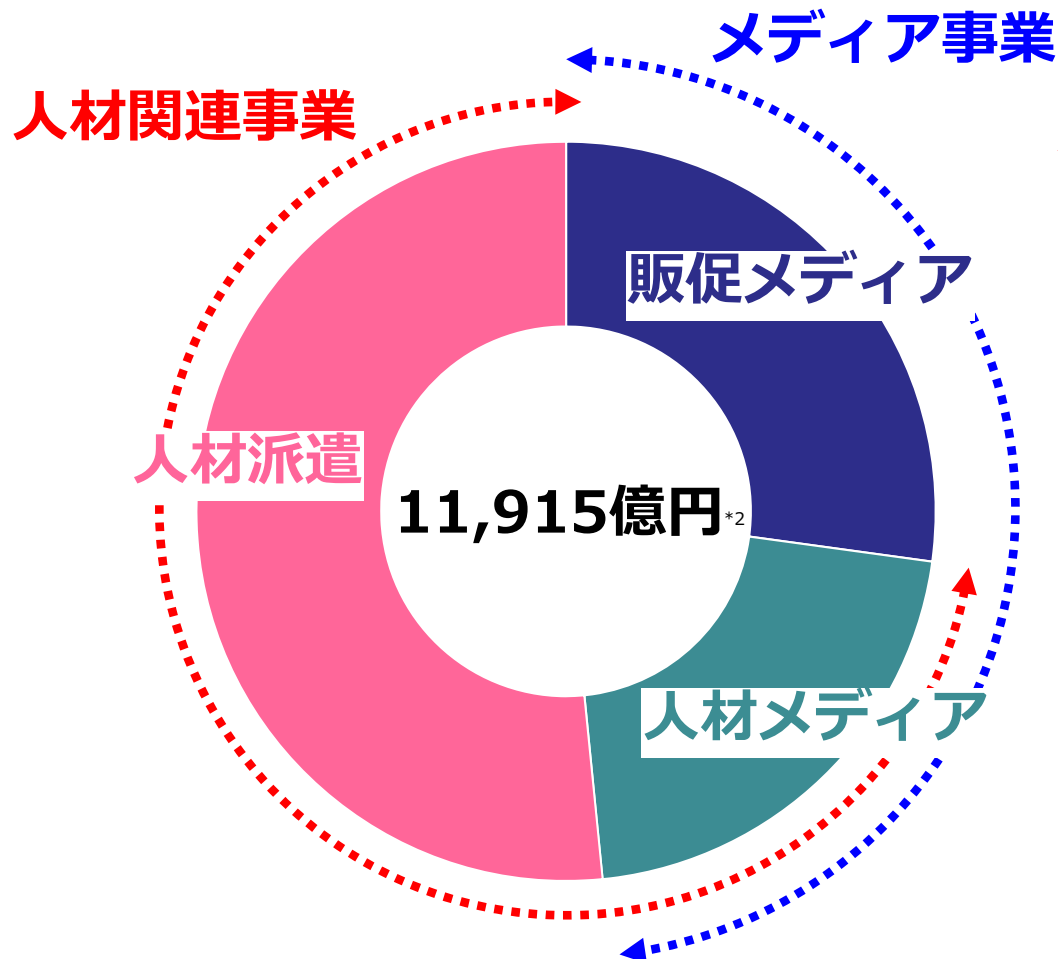
事業セグメント/主要サービス

販促メディア	ライフイベント	住宅、結婚、自動車、進学    
	日常消費	旅行、飲食、美容、他   
	その他	(海外) 
人材メディア	国内人材募集	国内求人・紹介    
	海外人材募集	海外求人 
	その他	エグゼクティブサーチ、人材育成・研修  
人材派遣	国内派遣	(国内)  
	海外派遣	(海外)   
その他		 

セグメント別売上高/EBITDA (2014年3月期)

売上高

EBITDA^{*1}



*1 : EBITDA = 「営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額」

*2 : その他／調整額等-101億円を含む。売上構成は外部顧客に対する売上高を基準に算出

*3 : その他／調整額等-228億円を含む

当社の重要な経営指標：EBITDA

経営目標： 既存事業で毎期一桁中盤から後半のEBITDA成長率

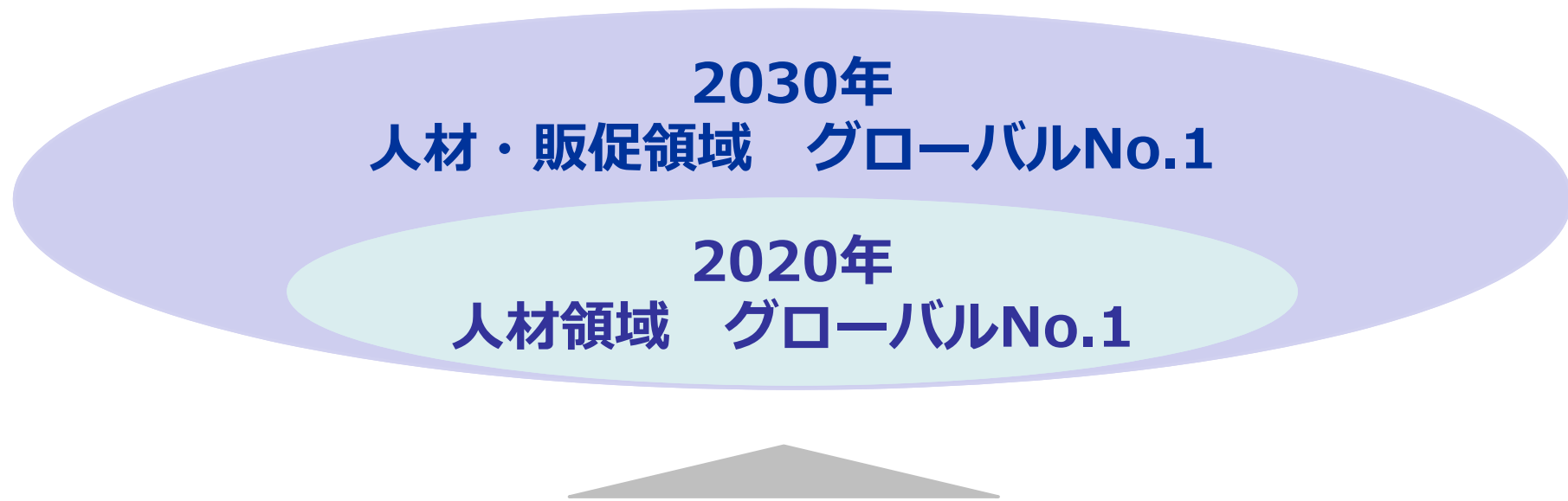
参考：売上高EBITDA率の考え方

- ・ 販促/人材メディア：25%～30%の水準を目安
(販促メディア：29.5%/人材メディア：27.6%) *1
- ・ 人材派遣：現時点で世界トップクラスの水準
(人材派遣：5.7% *1
Adecco：4.7%/Randstad：3.6%/Manpower：3.0%) *2

*1：2014年3月期の当社実績

*2：各社発表資料（各社直近の決算期に基づく）

中長期ビジョン実現へ向けた戦略



国内事業の持続的な成長

海外事業の更なる成長

強固な事業基盤

IT戦略

収益性の改善

M&A戦略

主要サービス
売上シェアNo.1

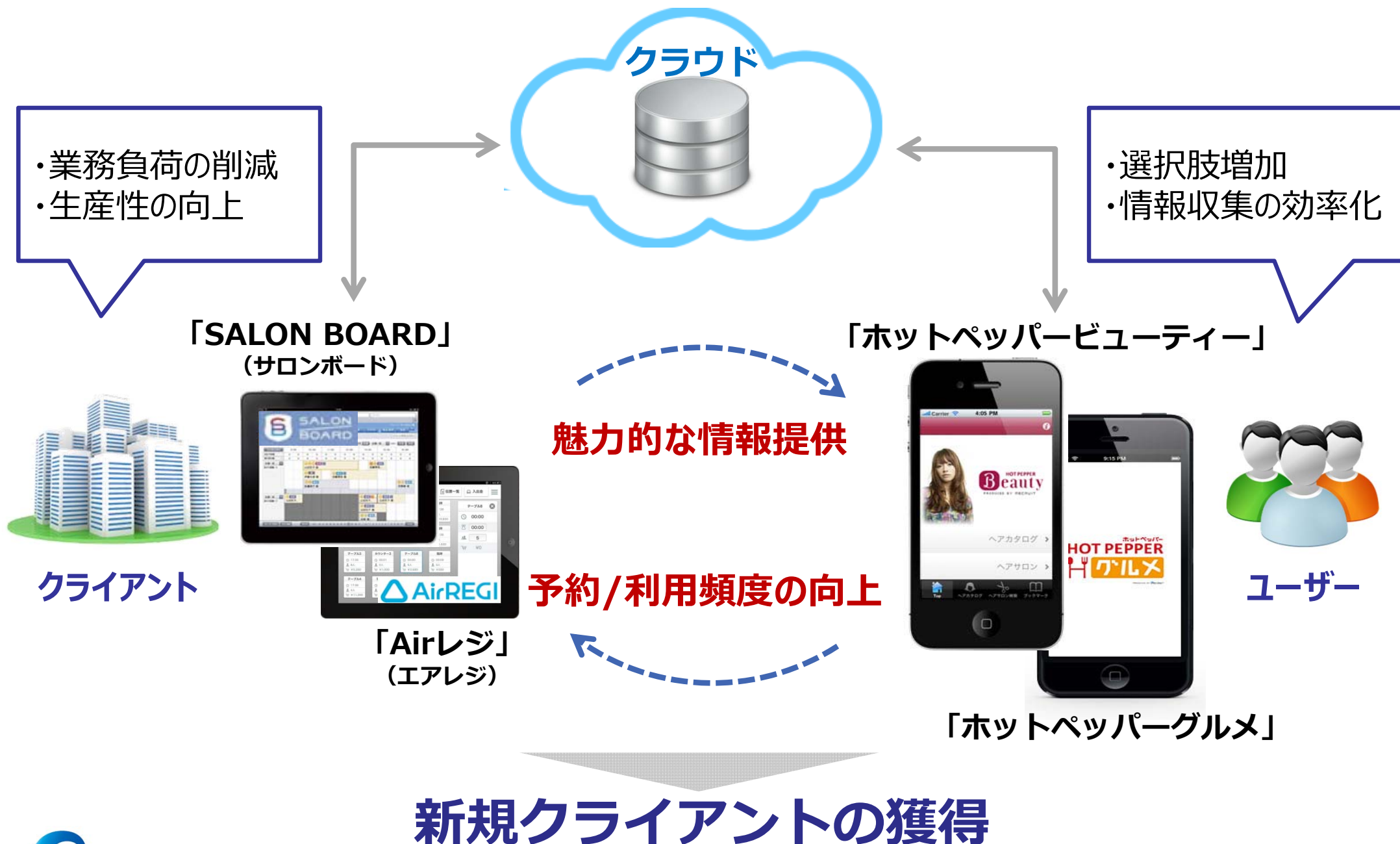
ITを活用した新規
クライアント獲得

ノウハウ移管による
バリューアップ

積極的なM&Aによる
事業基盤の拡大強化

国内事業の持続的な成長

ITを活用した新規クライアントの獲得（飲食分野/美容分野）



(2015年3月期 第2四半期累計期間トピックス)

■ 飲食分野

「ホットペッパーグルメ」

ネット予約人数*

(2015年3月期第2四半期累計実績)

900万人

■ 美容分野

「ホットペッパービューティー」

ネット予約件数*

(2015年3月期第2四半期累計実績)

1,341万件

*キャンセル前予約受付ベース

海外事業の更なる成長

1 “2段階アプローチ”による海外展開

Phase 1

- ・ 海外展開可能性の検証
- ・ 少額投資、マイノリティ出資等

Phase 2

- ・ 買収を通じた海外展開の加速
- ・ 買収した企業の価値最大化

2 厳格な投資基準

- ・ 投資判断は適切なハードルレートの下で運用

海外M&Aのトラックレコード

人材派遣

Phase 1

少額出資/
可能性検証

Phase 2

大型買収/
展開加速



The CSI Companies

2010年に買収



2011年に買収

Advantage Resourcing

2011年に買収



TAILORED TO WORK

2013年に買収

4社

人材メディア



Creations

2009年に買収

Bó Lè Associates

The Leader in Executive Search in Asia

2010年にマイノリティ出資

2013年に100%子会社化



2013年に買収



2012年に買収



2014年に買収

5社

販促メディア



2012年にJV設立
(マイノリティ出資)



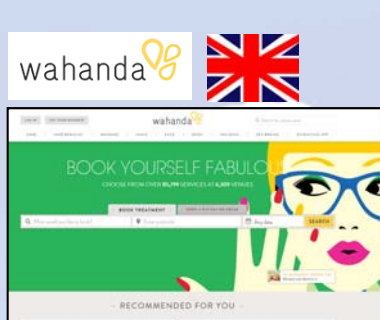
2013年に買収

9社



(2015年3月期 第2四半期累計期間トピックス)

■ 販促メディア



「Wahanda」
欧州最大のオンライン美容予約サービス
(イギリス・ドイツへ展開)



「Trip me」
欧州最大級の
旅行ツアー予約サービス

*国旗は本社所在地を表示



「Quandoo」
欧州最大級の飲食店予約サービス
(ドイツ・イタリア・オーストリア・トルコなど9か国へ展開)



「Wongnai」
タイ最大の飲食・美容口コミ検索サービス
(会員数100万人以上、レビュー数約20万件)



「Tripping」
在庫数世界最大の貸別荘検索サービス
(約36,000都市、100万件以上)

EBITDA：重要な経営指標に採用
既存事業で每期一桁中盤から後半の伸び率での成長

成長投資：中期的には7,000億円の余力

借入の活用：国内A格を意識した水準

資本効率性：調整後ROE_{*1}15%を目安

配当性向：のれん償却前当期純利益_{*2}の25%を目安

*1：調整後ROE＝「当期純利益＋のれん償却額／自己資本」

*2：のれん償却前当期純利益＝「当期純利益＋のれん償却額」

2015年3月期 通期見通し

■期初公表の通期見通しに変更なし

■売上高は前期比8.3%増の12,900億円、EBITDAは前期比5.7%増の1,910億円

(億円)	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期		
	通期実績	通期実績	5/14 期初公表 通期見通し*3	前期比	
				増減額	増減率
売上高	10,492	11,915	12,900	+984	+8.3%
EBITDA*1	1,700	1,806	1,910	+103	+5.7%
売上高EBITDA率	16.2%	15.2%	14.8%	—	-0.4pt
営業利益	1,249	1,174	1,210	+35	+3.0%
経常利益	1,281	1,220	1,260	+39	+3.2%
当期純利益	718	654	660	+5	+0.9%
のれん償却前当期純利益*2	969	1,014	1,030	+15	+1.5%

*1：EBITDA＝「営業利益＋減価償却費＋のれん償却額」

*2：のれん償却前当期純利益＝「当期純利益＋のれん償却額」

*3：2014年10月16日公表内容と同様。想定為替レート：1米ドル＝103円

2. 2015年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

2-(I) 連結業績サマリ

■ 通期見通しに対して順調な進捗

- 売上高：求人意欲の拡大等を背景に、前年同期比10.4%の増収
- EBITDA：中期的な成長を見据えた投資の実行により、前年同期比1.1%の増益

(億円)	2014年3月期	2015年3月期		
	第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績 ^{*3}	前年同期比	5/14 期初公表 通期見通し ^{*4}
売上高	5,593	6,173	+10.4%	12,900
EBITDA ^{*1}	848	858	+1.1%	1,910
売上高EBITDA率	15.2%	13.9%	-1.3pt	14.8%
営業利益	551	534	-3.2%	1,210
経常利益	573	553	-3.6%	1,260
四半期（当期）純利益	296	284	-4.1%	660
のれん償却前四半期 （当期）純利益 ^{*2}	466	463	-0.5%	1,030

*1：EBITDA＝「営業利益＋減価償却費＋のれん償却額」

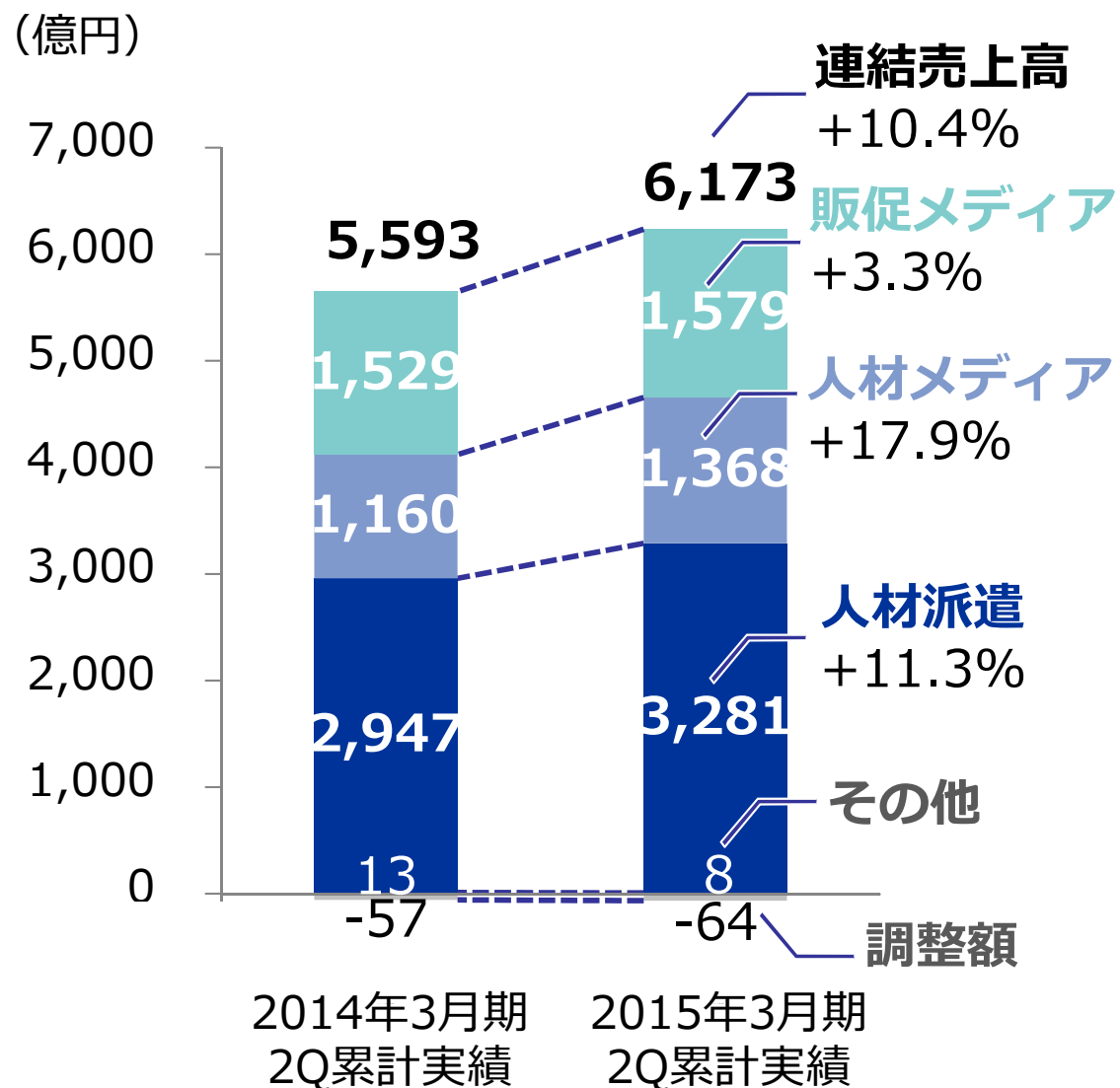
*3：期中平均為替レート：1米ドル＝102.46円

*2：のれん償却前四半期（当期）純利益＝「四半期（当期）純利益＋のれん償却額」

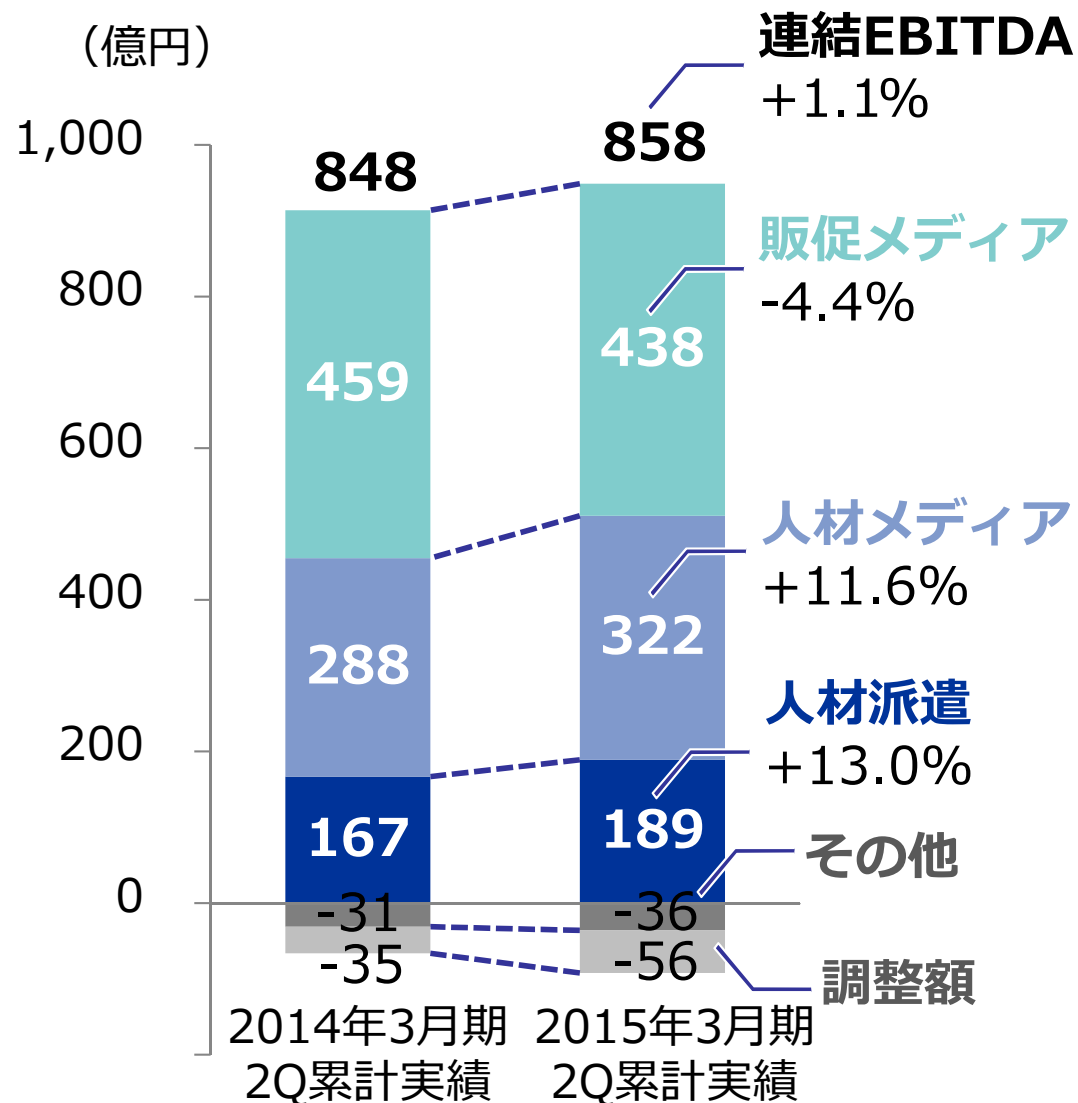
*4：2014年10月16日公表内容と同様。想定為替レート：1米ドル＝103円

2-(Ⅱ) セグメント別売上高/EBITDA

セグメント別 売上高*



セグメント別 EBITDA



*セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替を含む

3. 2015年3月期 第2四半期 セグメント情報

3. 2015年3月期 第2四半期 セグメント情報

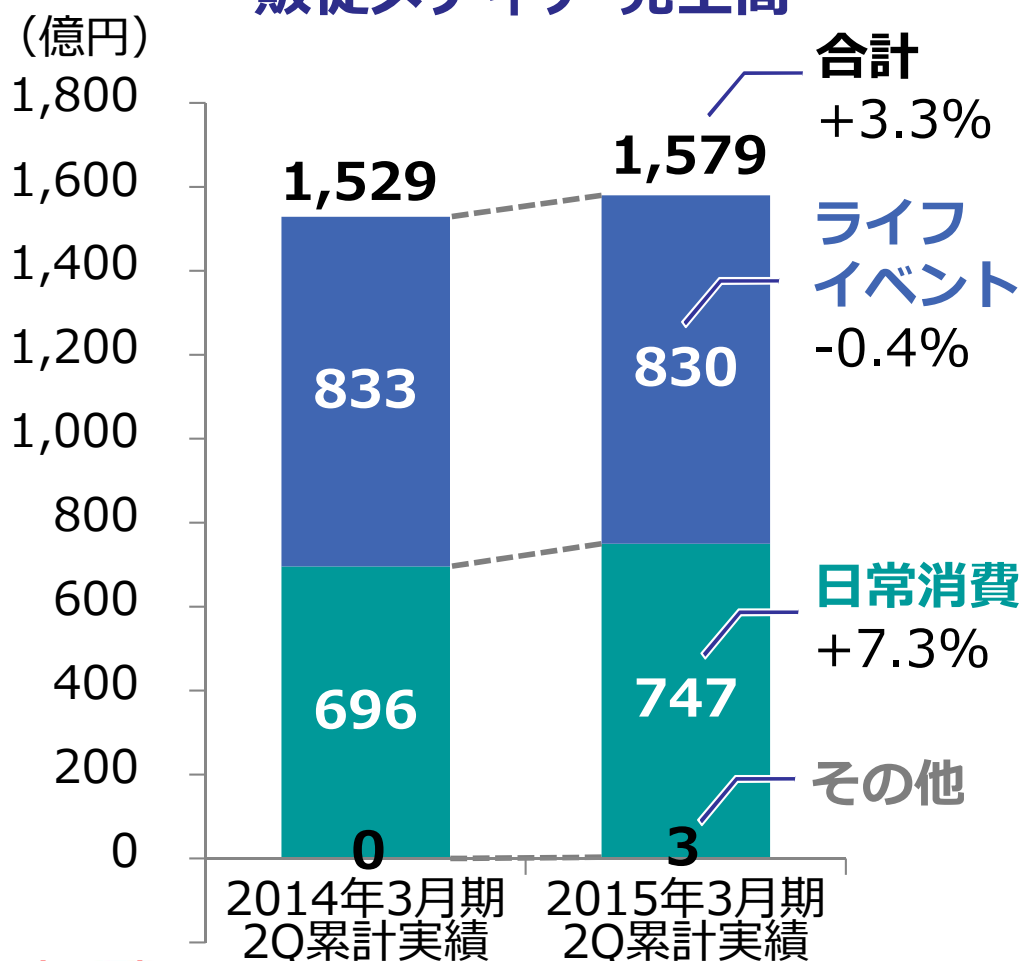
(I) 販促メディア事業の業績

3-(I) 販促メディア事業の業績 売上高/EBITDA

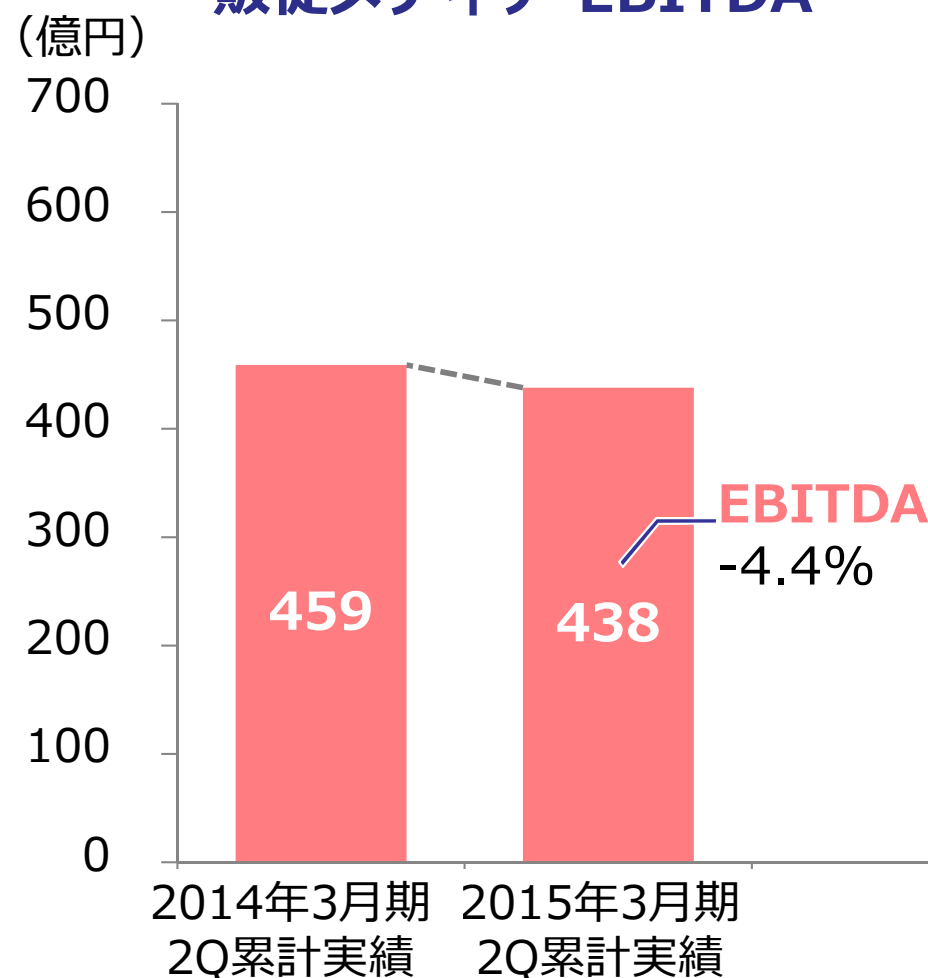
■ 売上高：ライフイベント領域は低調な一方、日常消費領域が好調に推移し、前年同期比3.3%の増収

■ EBITDA：日常消費領域における成長投資により、前年同期比4.4%の減益

販促メディア 売上高*

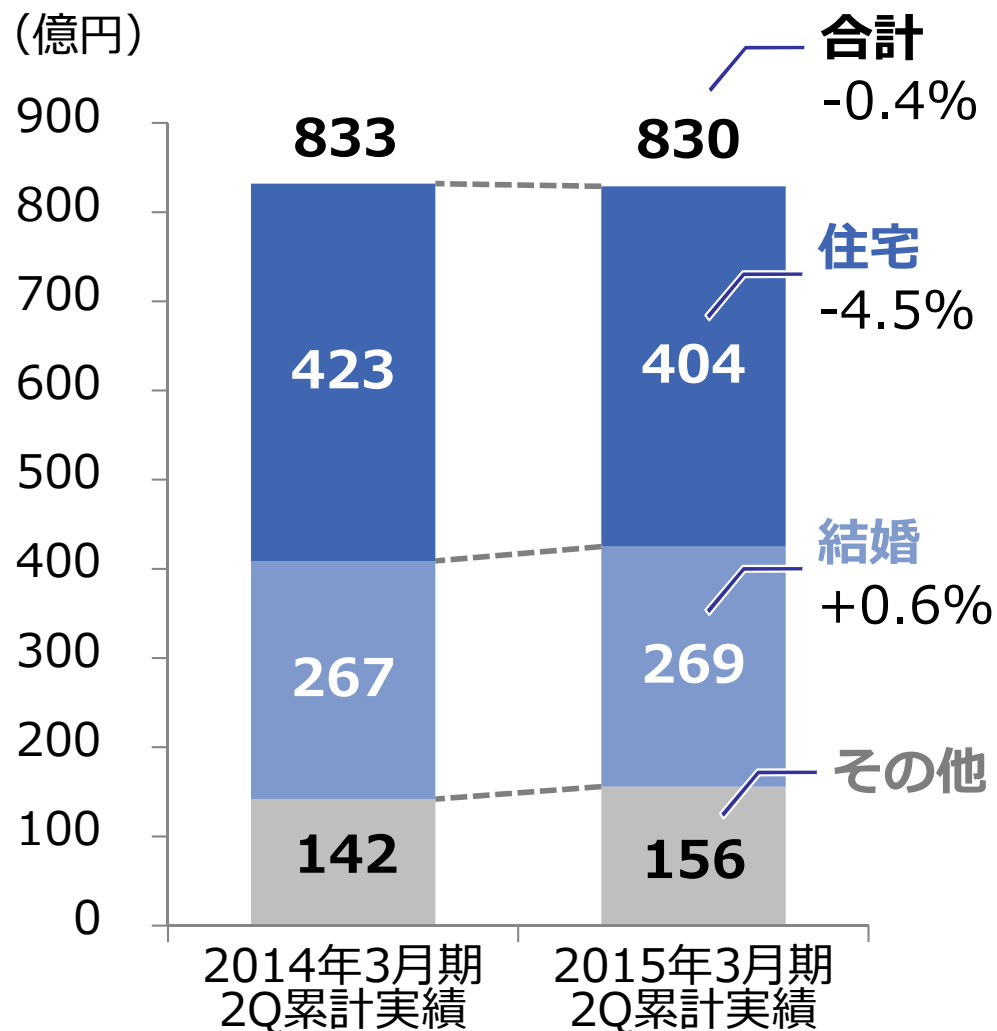


販促メディア EBITDA



3-(I) 販促メディア事業の業績 ライフイベント

ライフイベント 売上高*



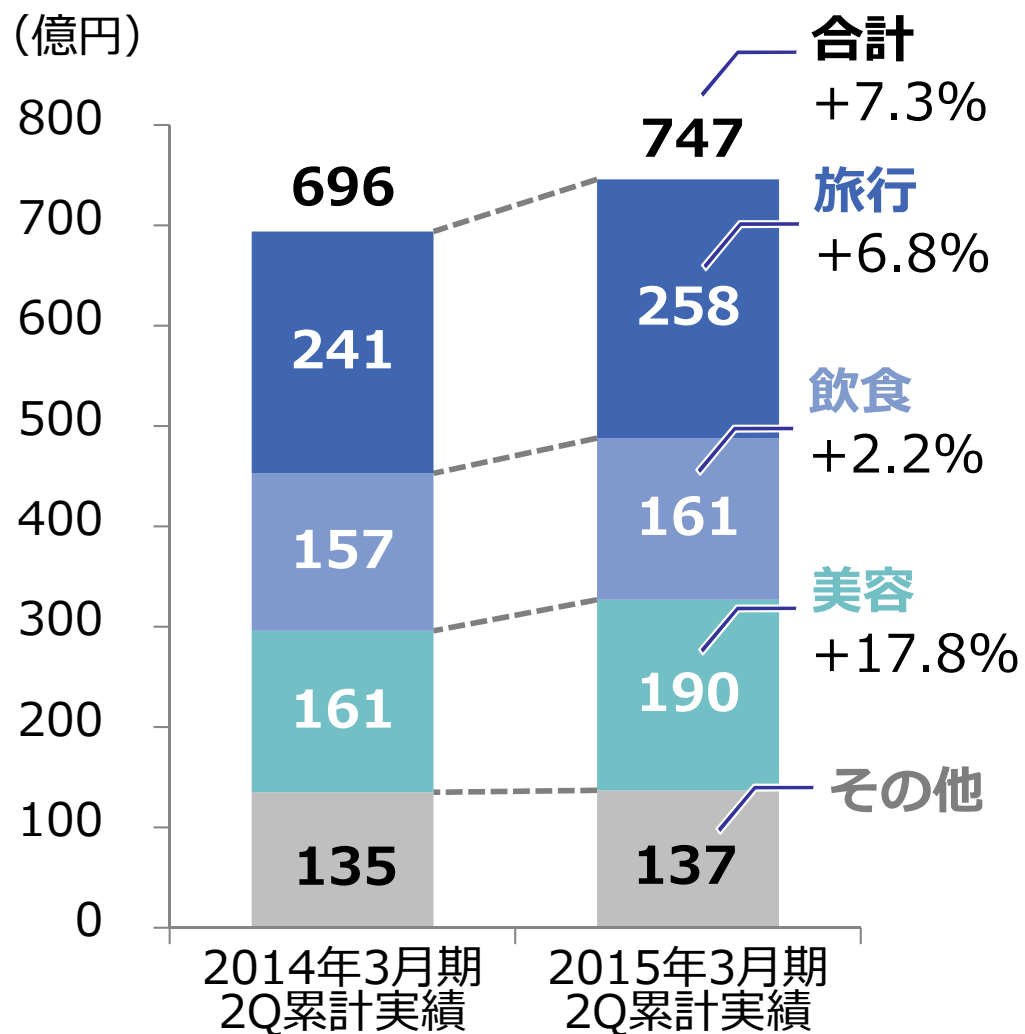
■ 売上高は低調

- 住宅分野は、消費税率引き上げの影響等を受けて、分譲マンション部門の売上高が低調に推移
- 結婚分野は、大手結婚式場運営クライアントの新規出店等に伴い、堅調に推移

*セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替を含む

3-(I) 販促メディア事業の業績 日常消費

日常消費 売上高*



■ 売上高は好調

- 旅行分野は、宿泊単価の上昇等により、好調に推移
- 飲食分野は、「Airレジ」の導入推進等を行うなか、堅調に推移
- 美容分野は、「SALON BOARD」の導入強化の結果、クライアントとの取引が拡大し、好調に推移

*セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替を含む

3. 2015年3月期 第2四半期 セグメント情報

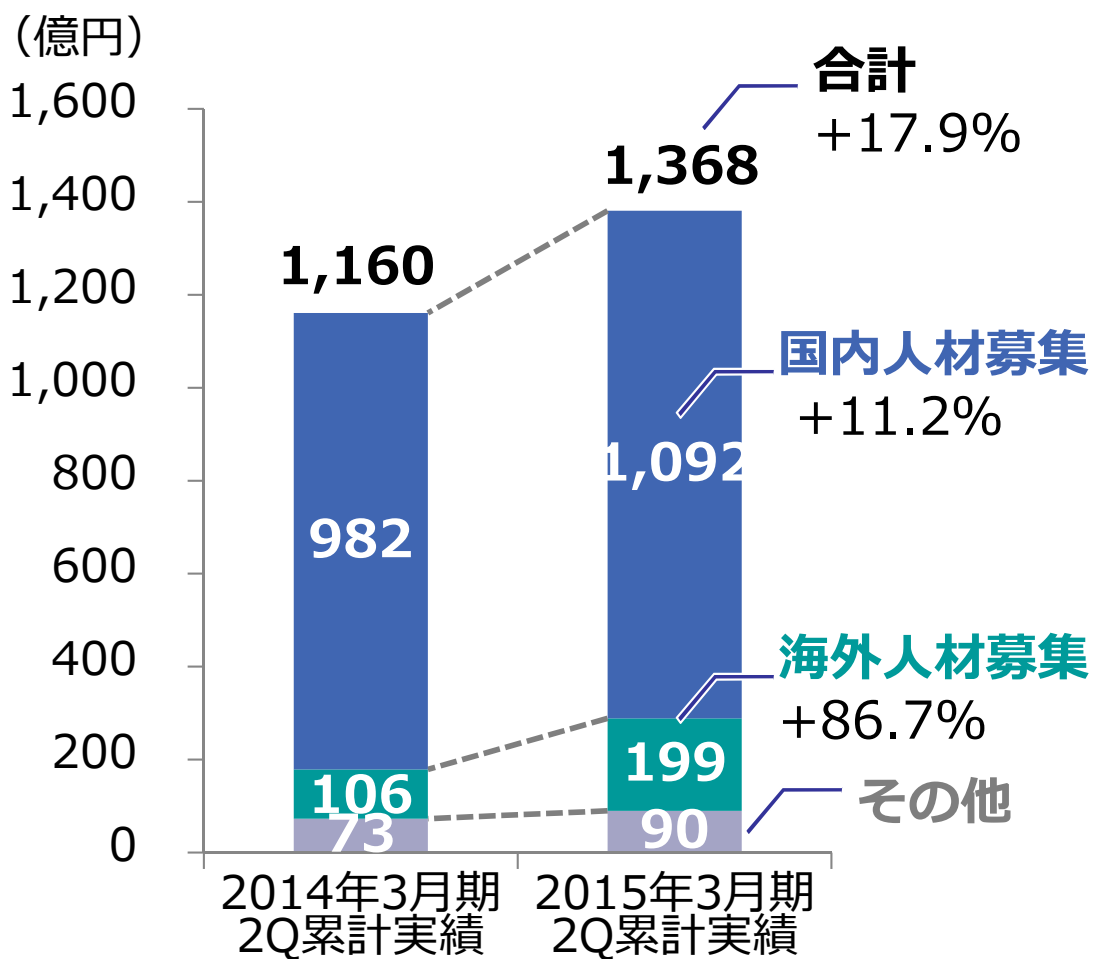
(Ⅱ) 人材メディア事業の業績

3-(Ⅱ) 人材メディア事業の業績 売上高/EBITDA

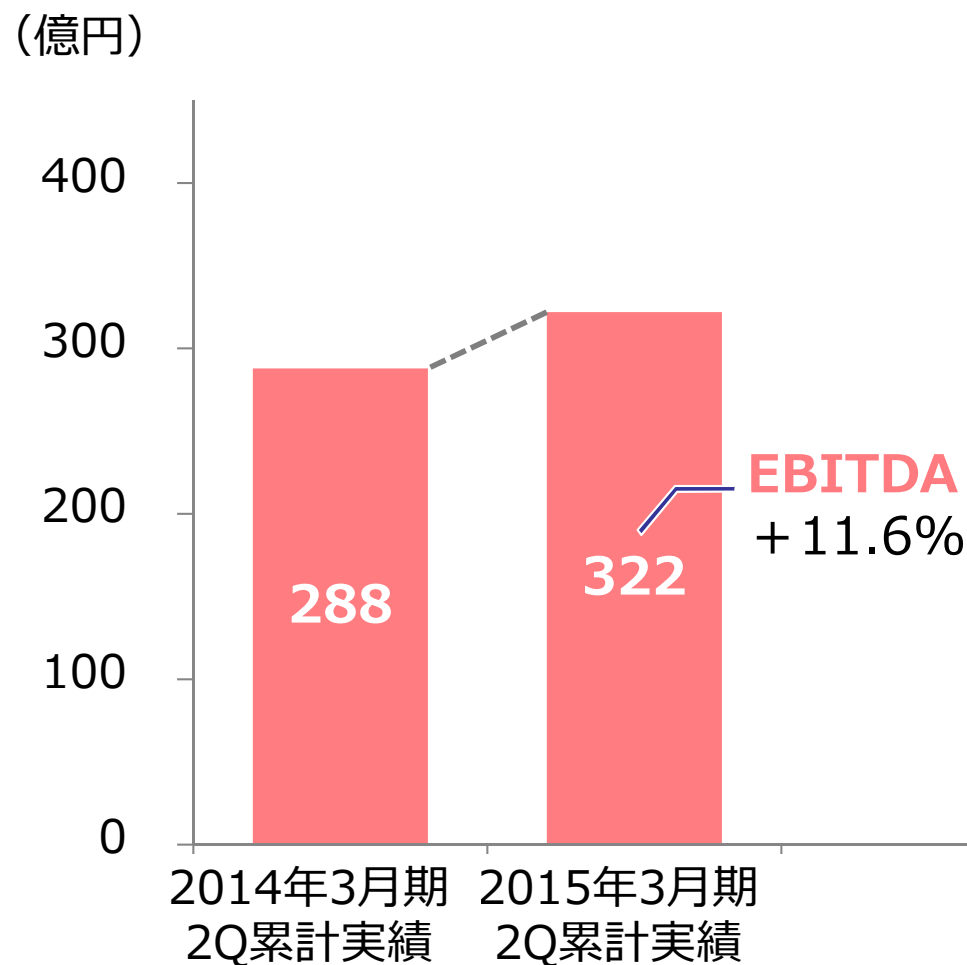
■売上高：国内人材募集、海外人材募集とも好調に推移し前年同期比17.9%の増収

■EBITDA：売上高の増加等に伴い、前年同期比11.6%の増益

人材メディア 売上高*



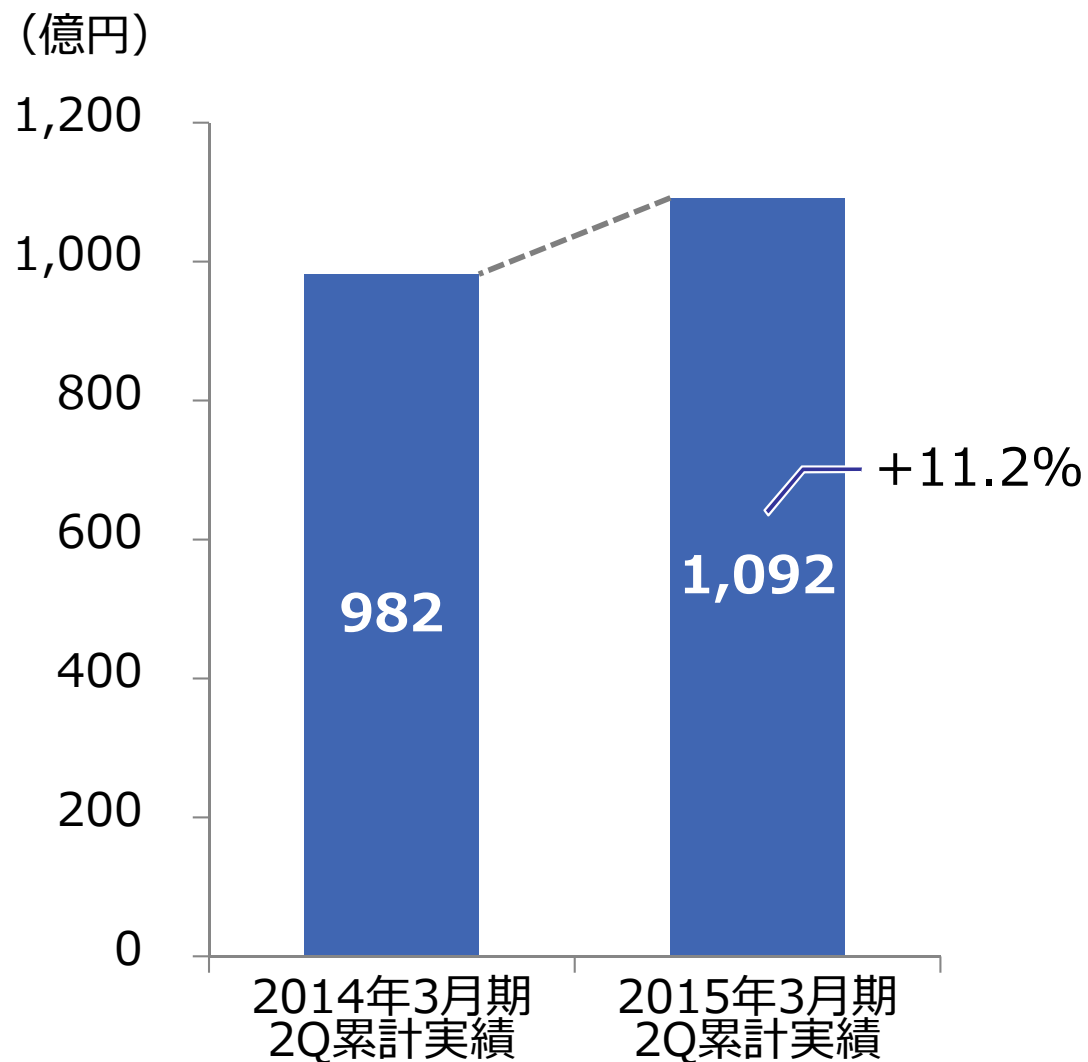
人材メディア EBITDA



*セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替を含む

3-(Ⅱ) 人材メディア事業の業績 国内人材募集

国内人材募集 売上高



■ 市場環境は好調

- 有効求人倍率、求人広告出稿件数は引き続き改善、増加傾向

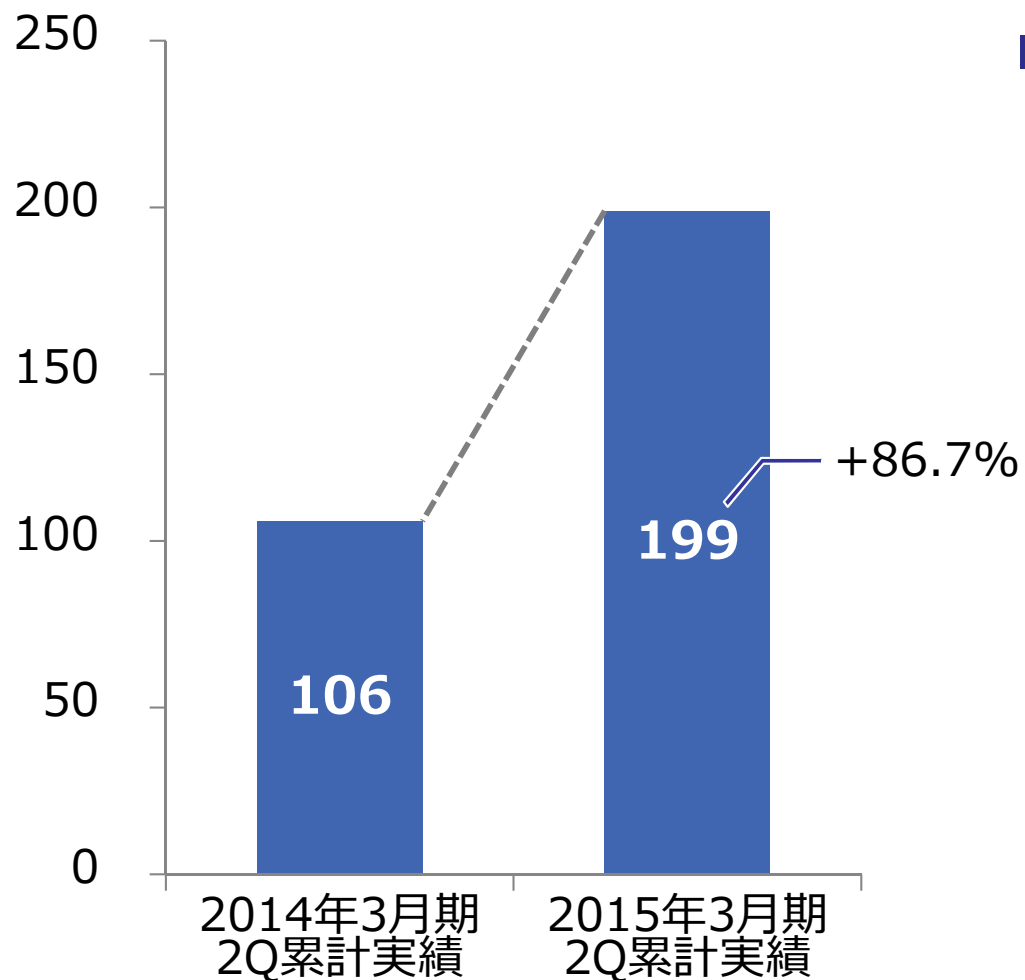
■ 売上高は好調

- 営業体制の強化等により、中途及びアルバイト・パート部門を中心に売上高は好調推移

3-(Ⅱ) 人材メディア事業の業績 海外人材募集

海外人材募集 売上高 (Indeed)

(億円)



■ 売上高は好調

- 中小クライアントのサービス利用の順調な伸長により、売上高は好調推移

3. 2015年3月期 第2四半期 セグメント情報

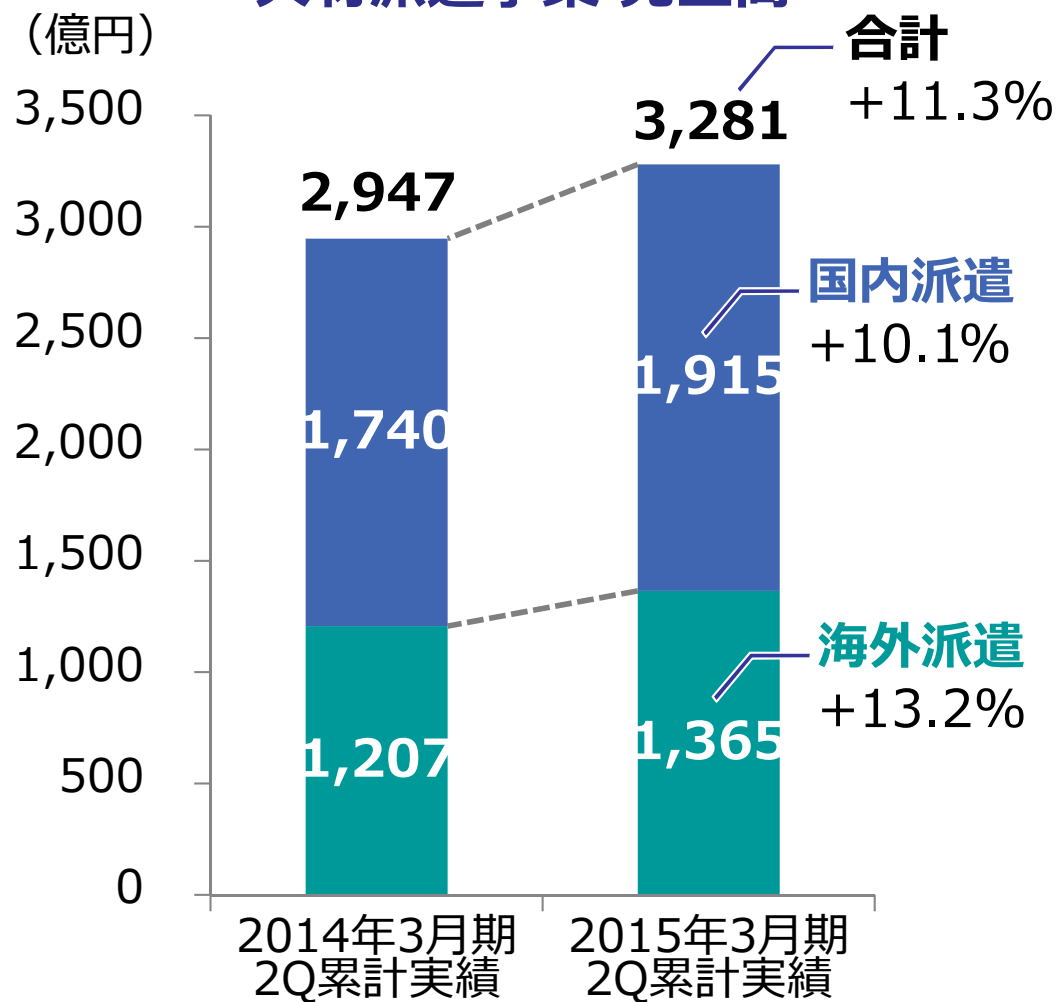
(Ⅲ) 人材派遣事業の業績

3-(Ⅲ) 人材派遣事業の業績 売上高/EBITDA

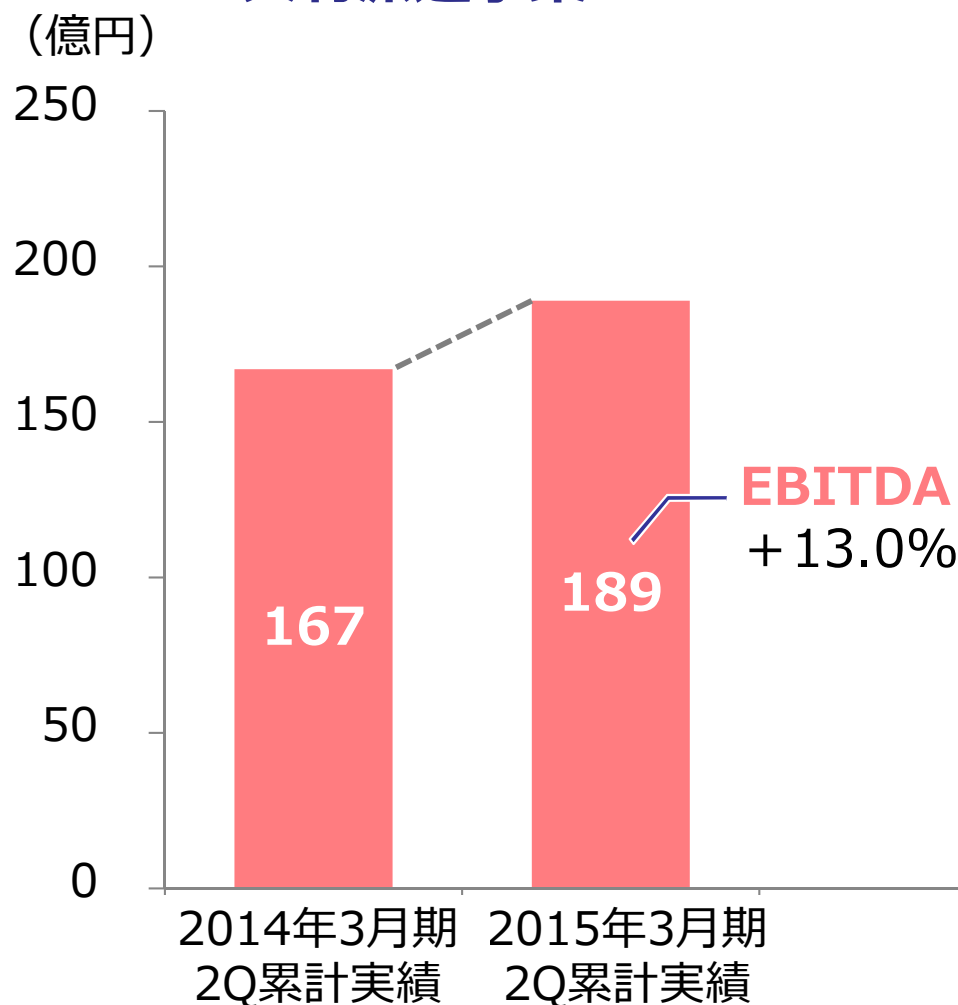
■売上高：国内派遣、海外派遣ともに好調に推移し、前年同期比11.3%の増収

■EBITDA：前年同期比13.0%の増益

人材派遣事業 売上高*



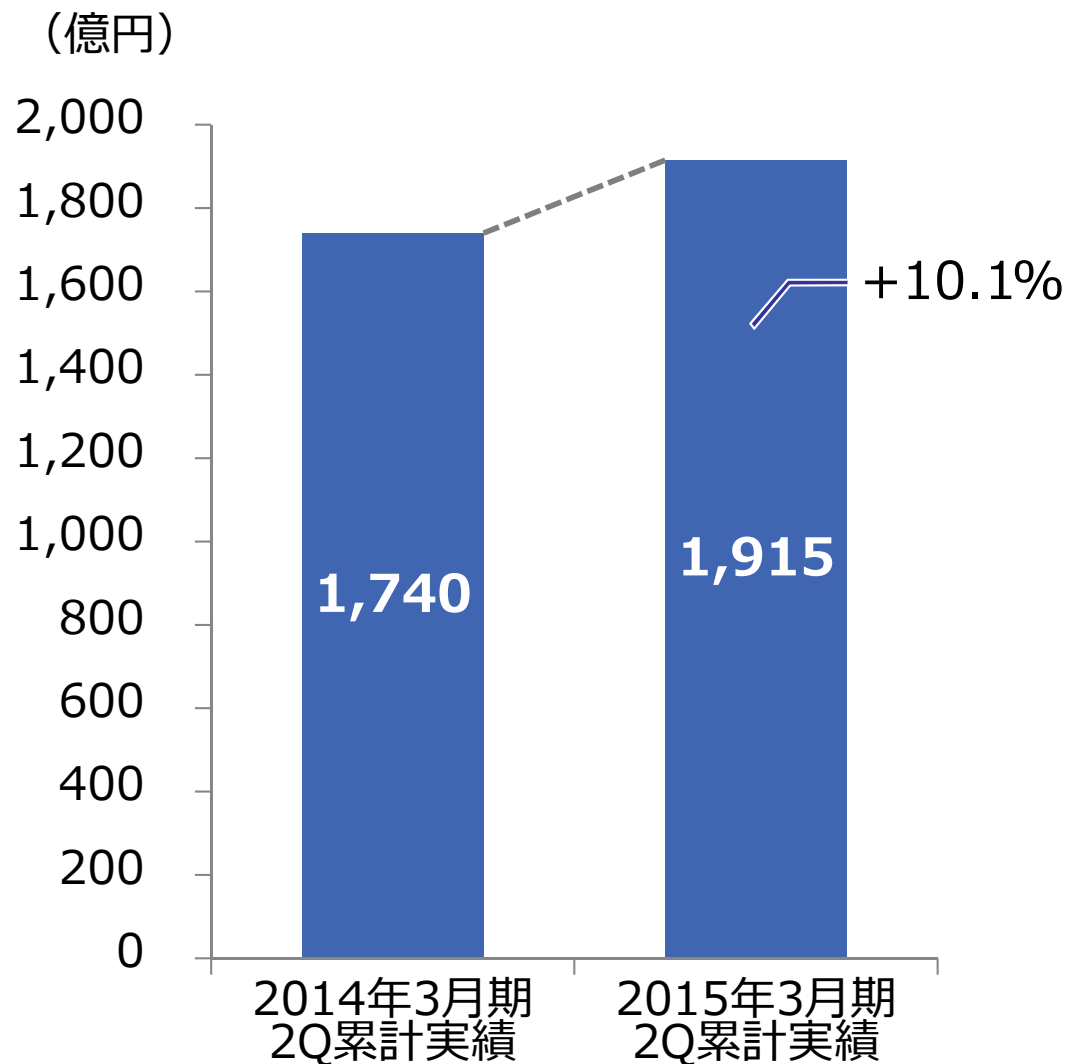
人材派遣事業 EBITDA



*セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替を含む

3-(Ⅲ) 人材派遣事業の業績 国内派遣

国内派遣 売上高



■ 市場環境は堅調

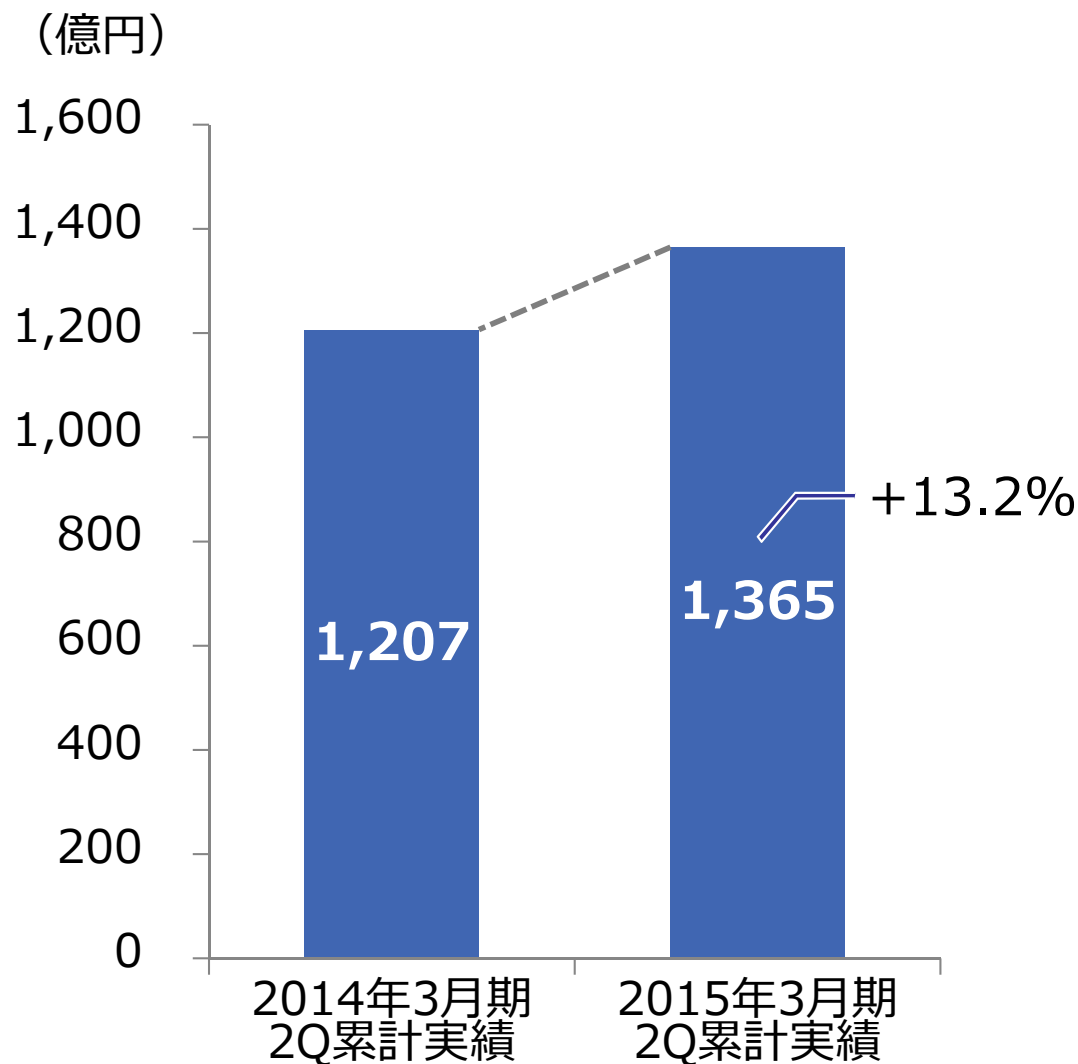
- 派遣社員実稼働者総数は増加傾向を維持

■ 売上高は好調

- リクルートスタッフィングの売上高は、首都圏の事務・IT部門の営業力強化により、好調推移
- スタッフサービスの売上高は、既存派遣契約の継続、新規派遣契約の拡大により、事務・メディカル・製造業務部門を中心に好調推移

3-(Ⅲ) 人材派遣事業の業績 海外派遣

海外派遣 売上高



■ 市場環境は堅調

- 北米、欧州の人材派遣市場は緩やかな拡大傾向が継続
- 円安の影響

■ 売上高は好調

- Advantage Resourcing Europe B.V. (英国) の順調な業績伸長等により、売上高は好調推移

2015年3月期 通期見通し

(億円)	2014年3月期	2015年3月期		
	通期実績	5/14 期初公表 通期見通し ^{*3}	前期比	
			増減額	増減率
売上高	11,915	12,900	+984	+8.3%
EBITDA ^{*1}	1,806	1,910	+103	+5.7%
売上高EBITDA率	15.2%	14.8%	—	-0.4pt
営業利益	1,174	1,210	+35	+3.0%
経常利益	1,220	1,260	+39	+3.2%
当期純利益	654	660	+5	+0.9%
のれん償却前当期純利益 ^{*2}	1,014	1,030	+15	+1.5%

*1：EBITDA＝「営業利益＋減価償却費＋のれん償却額」

*2：のれん償却前当期純利益＝「当期純利益＋のれん償却額」

*3：2014年10月16日公表内容と同様。想定為替レート：1米ドル＝103円

Appendix

連結損益計算書

(億円)	2014年3月期 2Q累計実績	2015年3月期 2Q累計実績	増減額	増減率
売上高	5,593	6,173	+579	+10.4%
営業費用	5,041	5,638	+597	+11.9%
EBITDA*1	848	858	+9	+1.1%
(減価償却費)	127	145	+17	+13.7%
(のれん償却額)	169	178	+9	+5.7%
営業利益	551	534	-17	-3.2%
営業外収益	30	26	-4	-14.1%
営業外費用	8	7	-1	-15.9%
経常利益	573	553	-20	-3.6%
特別利益	2	6	+3	+160.2%
特別損失	7	5	-2	-29.8%
税金等調整前四半期純利益	568	553	-14	-2.6%
法人税、住民税及び事業税	220	230	+9	+4.5%
法人税等調整額	50	38	-12	-24.6%
少数株主利益	0	0	-0	-35.5%
のれん償却前四半期純利益*2	466	463	-2	-0.5%
四半期純利益	296	284	-12	-4.1%

*1：EBITDA = 「営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額」

*2：のれん償却前四半期純利益 = 「四半期純利益 + のれん償却額」

セグメント別業績

(億円)	2014年3月期 2Q累計実績	2015年3月期 2Q累計実績	増減額	増減率
売上高*1	5,593	6,173	+579	+10.4%
販促メディア事業	1,529	1,579	+50	+3.3%
ライフイベント	833	830	-3	-0.4%
住宅	423	404	-18	-4.5%
結婚	267	269	+1	+0.6%
その他	142	156	+14	+9.9%
日常消費	696	747	+50	+7.3%
旅行	241	258	+16	+6.8%
飲食	157	161	+3	+2.2%
美容	161	190	+28	+17.8%
その他	135	137	+1	+1.4%
その他	0	3	+3	+1315.4%
人材メディア事業	1,160	1,368	+208	+17.9%
国内人材募集	982	1,092	+110	+11.2%
海外人材募集	106	199	+92	+86.7%
その他	73	90	+16	+22.1%
人材派遣事業	2,947	3,281	+334	+11.3%
国内派遣	1,740	1,915	+175	+10.1%
海外派遣	1,207	1,365	+158	+13.2%
その他事業	13	8	-5	-42.3%
調整額	-57	-64	-6	-
EBITDA*2	848	858	+9	+1.1%
販促メディア事業	459	438	-20	-4.4%
人材メディア事業	288	322	+33	+11.6%
人材派遣事業	167	189	+21	+13.0%
その他事業	-31	-36	-5	-
調整額	-35	-56	-20	-
売上高EBITDA率	15.2%	13.9%	-	-1.3pt
販促メディア事業	30.0%	27.8%	-	-2.2pt
人材メディア事業	24.9%	23.5%	-	-1.3pt
人材派遣事業	5.7%	5.8%	-	+0.1pt

*1：セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上又は振替を含む

*2：EBITDA = 「営業利益+減価償却費+のれん償却額」

連結貸借対照表（資産の部）

（億円）	2014年3月期末	2015年3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	3,903	3,785	-117
現金及び預金	1,611	1,748	+136
受取手形及び売掛金	1,624	1,559	-64
有価証券	260	92	-168
固定資産	4,700	4,513	-187
有形固定資産	235	238	+3
無形固定資産	3,022	2,772	-249
のれん	1,937	1,710	-226
ソフトウェア	462	507	+45
投資その他の資産	1,443	1,502	+58
投資有価証券	1,065	1,110	+45
資産合計	8,603	8,298	-304

連結貸借対照表（負債/純資産の部）

（億円）	2014年3月期末	2015年3月期 第2四半期末	増減額
流動負債	2,331	1,996	-334
支払手形及び買掛金*	519	495	-23
短期借入金	0	1	+0
1年内返済予定の長期借入金	267	157	-109
固定負債	806	755	-51
長期借入金	300	225	-75
負債合計	3,137	2,752	-385
株主資本合計	4,628	4,765	+137
その他の包括利益累計額合計	805	748	-56
新株予約権	3	3	-0
少数株主持分	29	28	-0
純資産合計	5,466	5,546	+80
負債純資産合計	8,603	8,298	-304

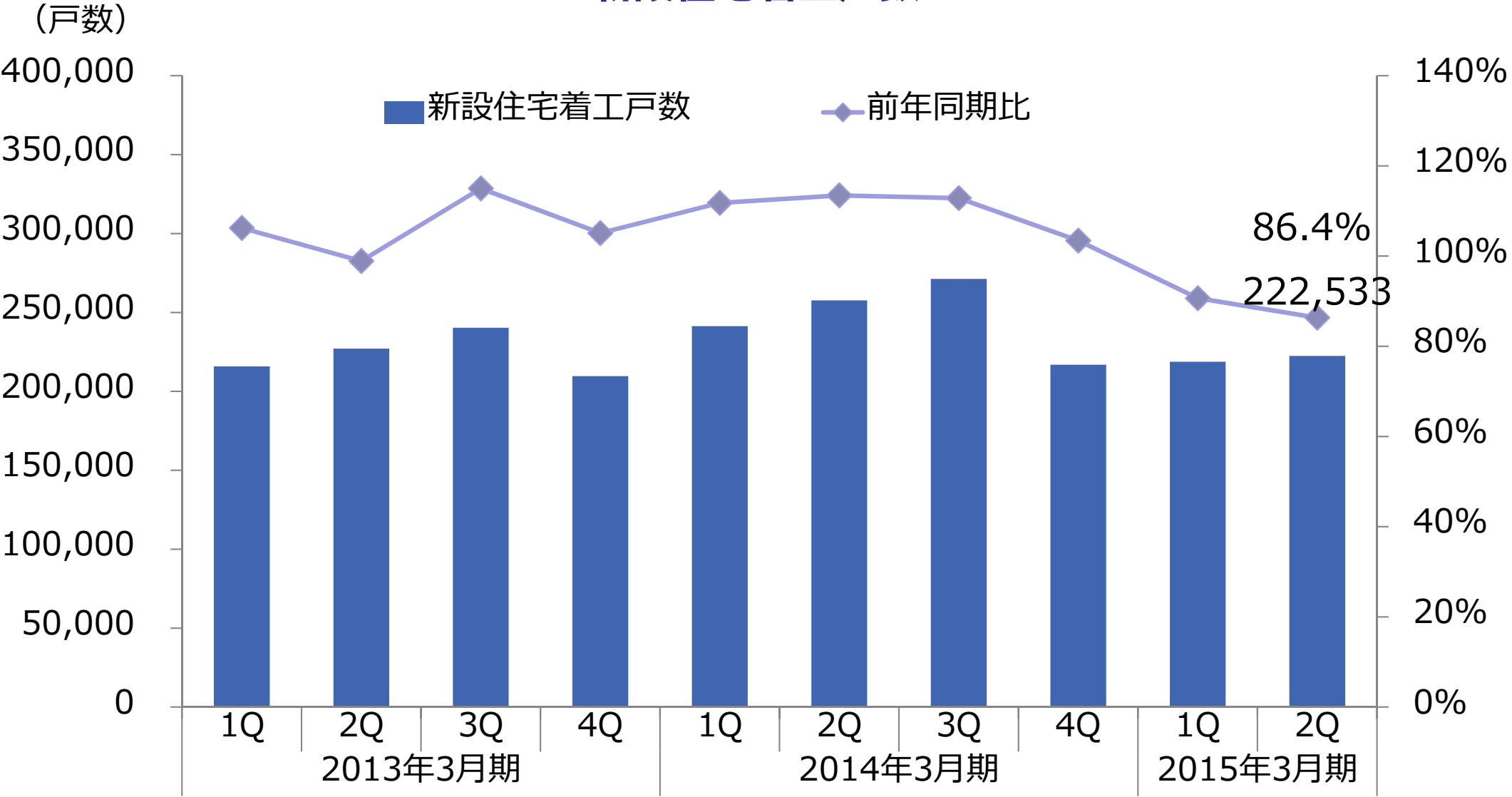
*電子記録債務を含む

連結キャッシュ・フロー計算書

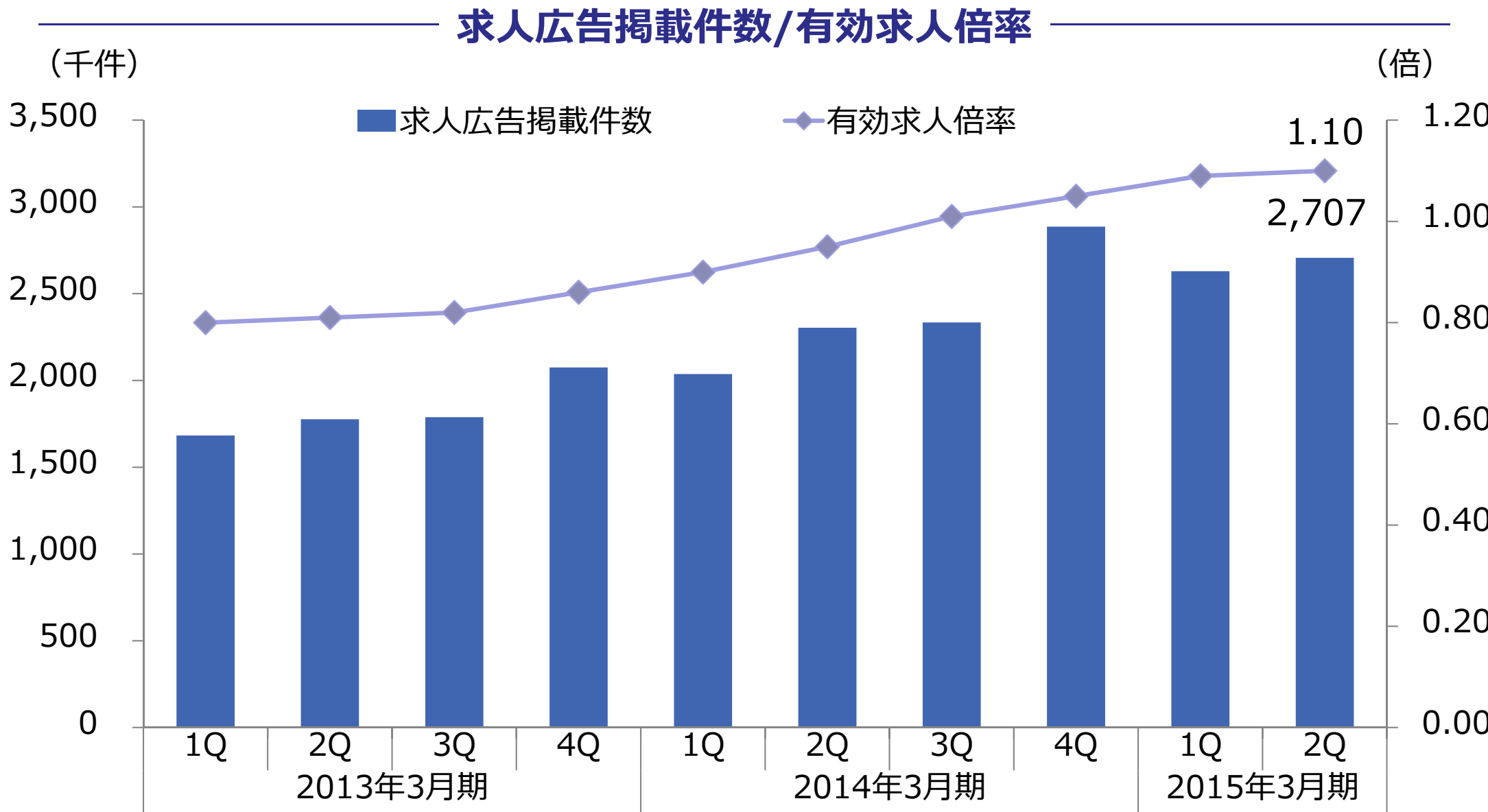
(億円)	2014年3月期 2Q累計実績	2015年3月期 2Q累計実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	420	475	+54
税金等調整前四半期純利益	568	553	-14
減価償却費	127	145	+17
のれん償却額	169	178	+9
売上債権の増減額	88	44	-43
仕入債務の増減額	-66	-65	+1
法人税等の支払額または還付額	-426	-345	+81
投資活動によるキャッシュ・フロー	-201	-236	-35
有形固定資産の取得による支出	-20	-31	-11
無形固定資産取得による支出	-112	-123	-10
投資有価証券の取得による支出*	-7	-34	-27
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-43	-	+43
子会社株式の取得による支出	-2	-3	-0
財務活動によるキャッシュ・フロー	-731	-319	+411
短期借入金の純増減額	-21	1	+22
長期借入れによる収入	-	-	-
長期借入金の返済による支出	-833	-184	+648
配当金の支払額	-128	-136	-7
現金及び現金同等物に係る換算差額	-1	8	+10
現金及び現金同等物の増減	-513	-71	+442
現金及び現金同等物の期首残高	2,014	1,871	-142
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-0	-	+0
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,500	1,800	+300

*関係会社株式の取得による支出を含む

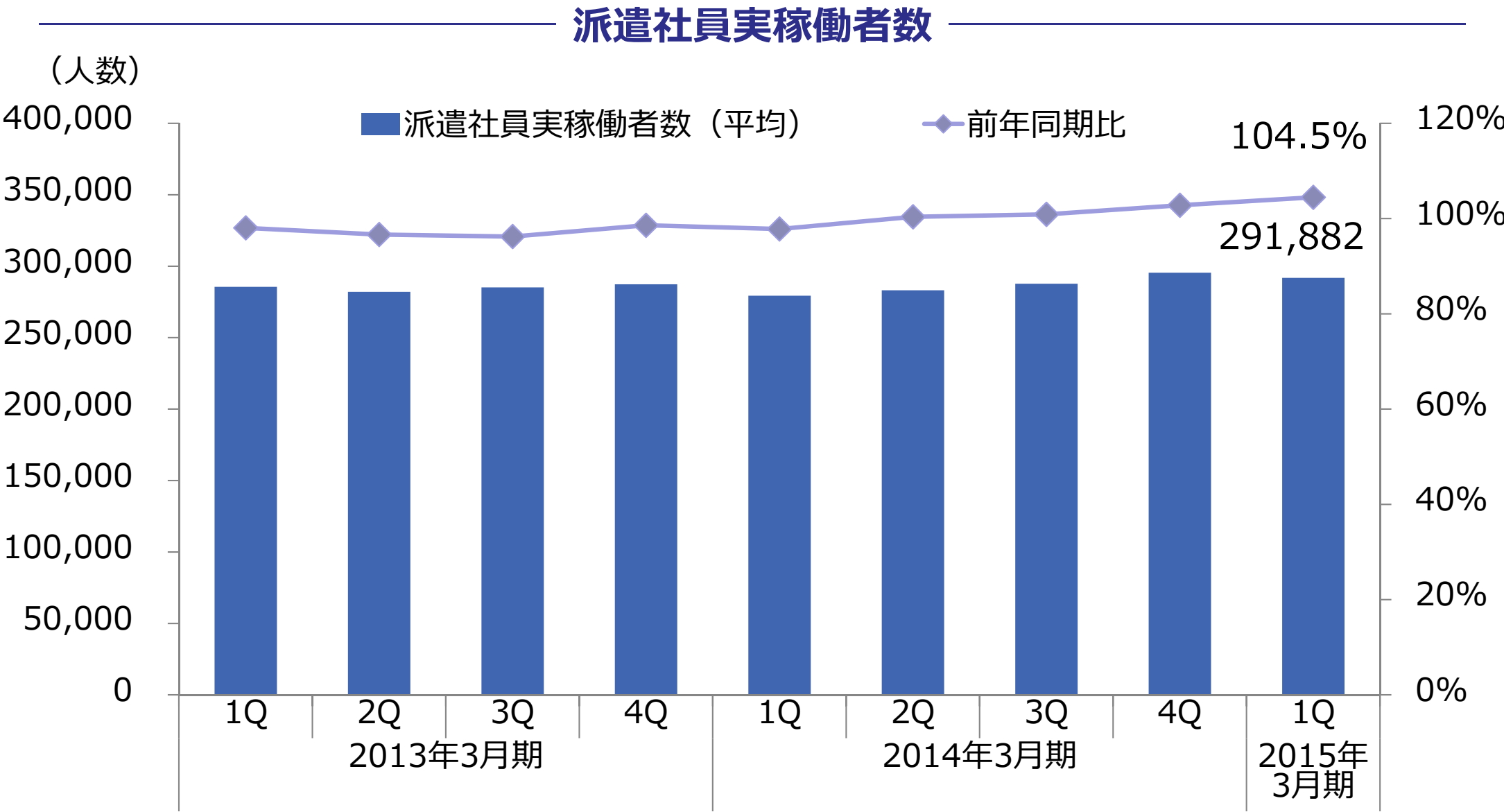
新設住宅着工戸数



*出所：国土交通省「住宅着工統計」

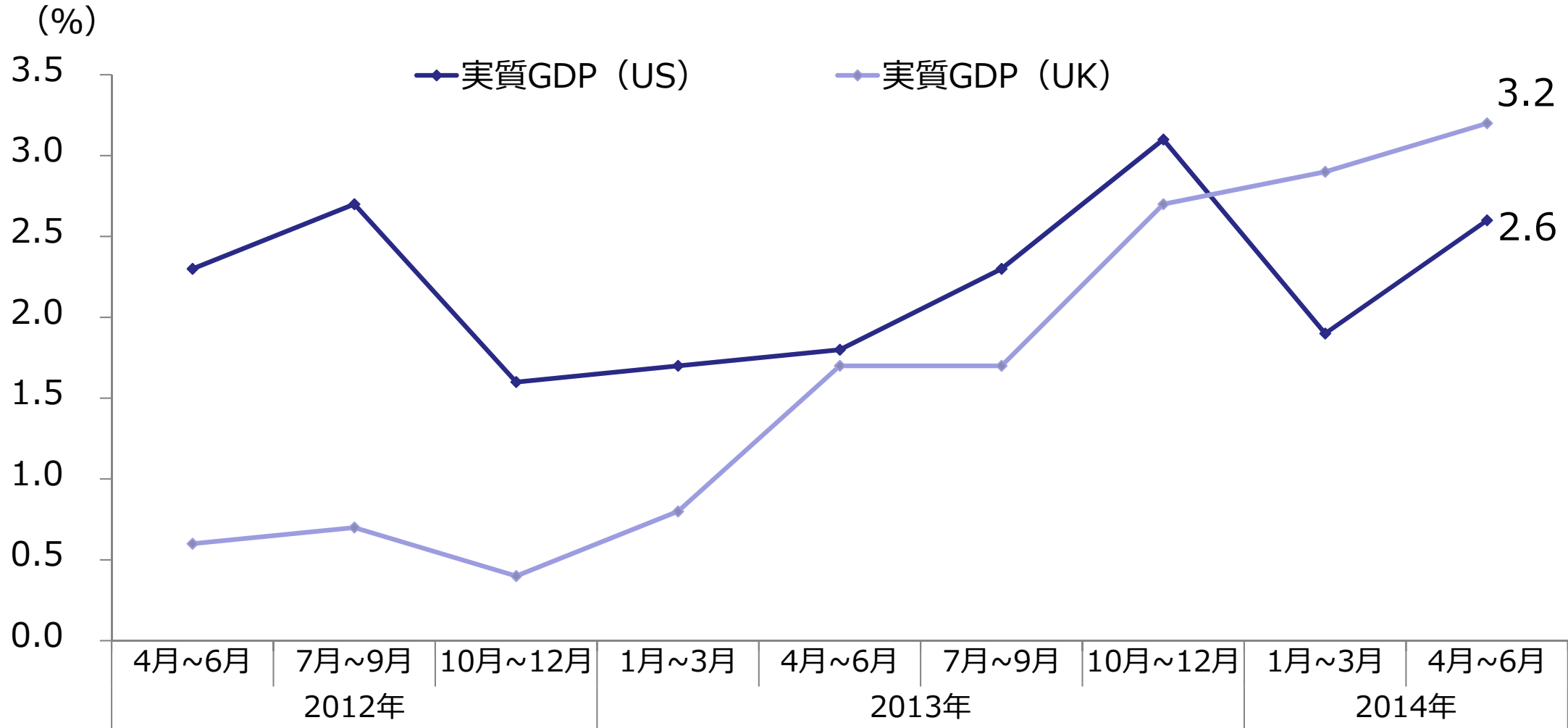


*出所：公益社団法人全国求人情報協会、厚生労働省



*出所：一般社団法人 日本人材派遣協会

実質GDP成長率推移 (US/UK)



*出所:

- U.S. Department of Commerce: National Income and Product Accounts Table 1.1.11. Real Gross Domestic Product: Percent Change From Quarter 1Year Ago
- UK Office for National Statistics Gross Domestic Product: Quarter on quarter previous year